



箱根駅伝に出場する大学への送付作業

洞爺湖町とJA
とうや湖は、

11月13日、箱根町を折返す箱根駅伝(来年1月2日、3日)に来年出場する23大学の

陸上部に、地元特産のじゃがいも「とうや」を贈りました。

来年洞爺湖町と箱根町が姉妹都市提携して50年を迎え、箱根駅伝大会も90回の節目に当たることから、この企画が発案されました。

各大学には、真屋町長からの「箱根町を舞台に繰り広げられる歴史ある箱根駅伝での貴校の名誉を擧げつなぎ、完走されますよう遠く北の大地から皆様がたのご健闘をお祈り申し上げます」とのメッセージを添えて、100^{キロ}づつ合計2.3トンのじゃがいもが送付されました。

姉妹都市箱根町との提携を記念 箱根駅伝出場大学に特産品じゃがいも贈呈

初冬恒例みそ作り教室 ウイメンズネットワーク洞爺湖

ウイメンズネットワーク洞爺湖(青木佐智子代表)が、11月14日初冬恒例のみそ作り教室を開催し、約30人が参加して、手作りみその仕込みを楽しみました。

農業改良センターの大沼千佐子さんを講師に、会員らは手慣れた手つきで、大豆45^{キロ}、こうじ45^{キロ}と塩2^{キロ}を練合せ、みそを作り上げました。来年の同時期には約50^{キロ}のみそが出来上がり、会員らに配る予定です。



仲良くみそ作りを楽しむ会員

日本の伝統食で健康増進 星澤幸子さん講演会

平成25年度洞爺湖町PTA連合会研究大会が、11月16日洞爺湖文化センターで開かれ、児童生徒の保護者、教員や町民など約110人が、講演会に参加しました。

講師はテレビなどでおなじみの料理研究家の星澤幸子さん。「世界一の大地の活かし方」とテーマに、伝統的な日本食の素晴らしさから、現在忘れ去られている「食」の大切さ、食材の宝庫である北海道のあり方など幅広い話を繰りひろげました。

最後に丸田学PTA連合会副会長が「先生のお話を参考に、家族みんなで健やかな生活ができるようにしたい」と



伝統食の大切さを訴える星澤幸子さん

お礼を述べ、参加者一人ひとりが健康で長生きするために「食」がいかに大切かを改めて考えました。



入選した秋山さん(右)と佐々木さん

平成25年度「中学生の税についての作文コンク

ール」で、虻田中学校から2人の生徒が入選し、11月26日同校で表彰伝達式が行われました。同コンクールは、租税教育の推進を目的に、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が主催。

伝達式では、西胆振地区納税貯蓄組合連合会長で、洞爺湖町納税貯蓄組合連合会長の宮腰哲雄さんと綱嶋勉教育長から、それぞれ生徒たちに表彰状と記念品が手渡されました。受賞は次のとおり。

▽洞爺湖町長賞 秋山莉花さん(1年)▽西胆振地区納税貯蓄組合連合会会長賞 佐々木俊輔さん(1年)

税の作文コンクール 虻中生入選